

平成 24 年 7 月 1 日

研究者各位
研究機関各位

乳の社会文化ネットワーク
代表幹事 和仁 皓明
社団法人日本酪農乳業協会
会長 浅野 茂太郎

「乳の社会文化」学術研究公募のお願い

謹啓 初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は、当研究会の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「乳の社会文化ネットワーク」では、わが国の乳の文化創造の貢献に向け、広く社会に情報発信するため、社団法人日本酪農乳業協会（Jミルク）と共同して、「乳の社会文化価値」に係る学術研究を下記の通り、広く公募することとなりました。

つきましては、公募の趣旨および要領をご理解頂き、乳の学術研究公募への積極的なご参加をお願い申し上げます。

謹白

記

1. 募集（申請）期間

平成 24 年 7 月 1 日（日）～9 月 10 日（月）必着

2. 募集テーマ・内容

	テ ー マ	内 容
A	乳及び酪農乳業に係る社会的文化的視点からの研究	わが国における牛乳乳製品に係る食文化的意識（その特徴や課題）、日本人の食生活の歴史的変化と係り、並びに、わが国の酪農乳業産業の社会的経済的な意義（その特徴と課題）などについての研究（これらの研究にとって有意義な他の国や民族との比較研究を含む）。
B	右の研究テーマに関連したり補強したりするための研究	①牛乳飲用慣習の形成に関する要因分析 ②牛乳の栄養経済性の計測 ③和食と乳の融合（その食文化的意義の検証） ④わが国酪農乳業の産業的発展に係る構造分析 ⑤学校給食における牛乳利用の歴史的評価 ⑥乳をめぐるリスクコミュニケーションの現実と課題

3. 応募資格

研究者ないし研究グループ（大学院生を含む）

4. 委託研究期間

原則として、1年を超えないものとする。

5. 委託金額

年間1件当たり、原則として100万円以内とする。

6. 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、必要に応じ各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

<審査委員会>

委員長	生源寺眞一（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）
副委員長	和仁皓明（西日本食文化研究会主宰）
委員	江原絢子（東京家政学院大学名誉教授）
委員	小長谷有紀（国立民族学博物館民族社会研究部教授）
委員	細野明義（（財）日本乳業技術協会常務理事）
委員	大江靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科教授）

7. その他

詳しい内容は、下記 Web より<学術研究実施要領>をダウンロードしてご確認下さい。

<社団法人日本酪農乳業協会ホームページ> <http://www.j-milk.jp/>

8. 同封物

- ①「乳の社会文化」学術研究の公募ポスター（A2）
- ②「乳の社会文化」学術研究の公募チラシ（A4）

以上

<乳の社会文化ネットワーク>

乳の利用と酪農乳業の発展に関する社会的文化的な研究を通して、わが国乳文化の創造に積極的に貢献することを目的とする(社)日本酪農乳業協会の外部関連組織。

代表幹事 和仁皓明（西日本食文化研究会主宰）、副代表幹事 生源寺眞一（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）平成24年4月設立。

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045

東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル5F

社団法人日本酪農乳業協会内「乳の社会文化ネットワーク」事務局

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354

担当:豊澤 誠一郎

E-mail s-toyosawa@j-milk.jp